

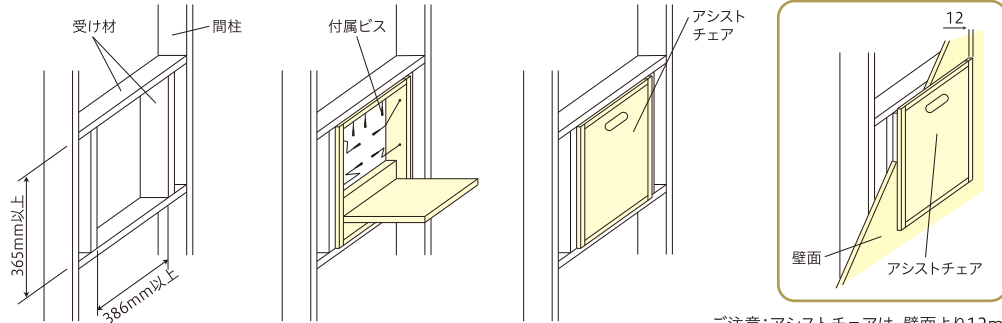


アシストチェア 施工方法

■商品ページ→P107

1. 建物の柱や間柱にアシストチェアを取り付けます。本体埋込み寸法は、W386×H365×D50mmですので、1~2mmの逃げをとり、受け材を設置してください。(取付箇所に受け材がない場合は補強材を増設し、上下にも受け材を必ず配置してください。)受け材は柱や間柱と完全に固定してください。

2. アシストチェアを下部受け材に乗せて内側から補強材に向けて各2本・上面へ3本の付属品ビスL65mmで固定します。



ご注意:アシストチェアは、壁面より12mmです。

施工前・施工後のご注意

1. 施工方法を必ず守ってください。(受け材などを取付けてください)
2. 高さ50cm以上の箇所には取り付けしないでください。
3. 商品は、天然木を使用しています。多少の色むらなどがありますのでご了承ください。
4. 背板は、入っておりません。
5. 無塗装品をご購入された場合は必ず、塗装をしてください。(木材が伸縮する場合があります。)

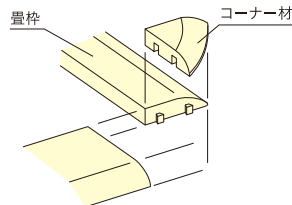
使用上の注意と日頃のメンテナンス

1. 商品に異常を感じた場合、直ちに施工業者にご連絡ください。
2. 商品を座椅子以外の目的で使用しないでください。
3. 商品を乱暴に取り扱わないでください。
4. 開閉時に指や手をはさまないように注意してください。
5. 日頃のメンテナンスは、固く絞った雑巾などで水拭きしてください。特に汚れのひどい場所は、中性洗剤を水で薄めて使用してください。
6. 開閉部がスムーズに動かなくなった場合は、少量の潤滑油を回転部に塗布してください。

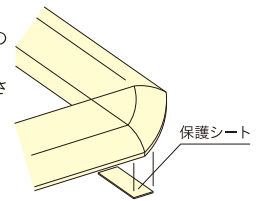
畳ユニット施工方法

■商品ページ→P109

1. 外周の畳枠を組んだ後、畳を入れます。連結部は、プラスチック部材と切欠き部分を合わせ、上から押し込んでください。(切欠き部分が合っていないとプラスチック部材を破損することがありますので、注意してください。)



2. 床部分を傷つけないように、連結部に付属の保護シートを取付けてください。
3. 外周の畳枠を組みましたら、畳を入れてください。



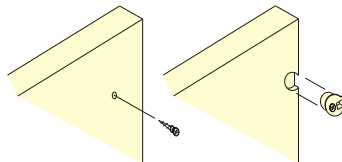
使用上の注意と日頃のメンテナンス

1. 日頃のメンテナンスは、乾いた雑巾でカラ拭きしてください。特に汚れのひどい場合は、中性洗剤を水で薄め固く絞った雑巾で拭いてください。
2. 床材を傷つけないように保護シートは使用してください。
3. 木部は天然木を使用しています。多少の色違いや木目の違いがあります。ご了承ください。
4. 畳は変色します。
5. 保護シートが取れたり、機能を果たさない場合は、直ちに交換してください。

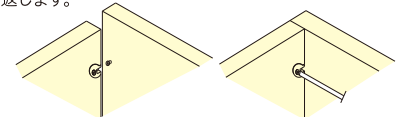
収納畳ユニット施工方法

■商品ページ→P110

1. 側板のφ5mm(小さい穴)に付属のビスをドライバーで取付けてください。側板のφ20mm(大きい穴)に付属部品を押し込んでください。



2. 側板に取付けたビスを付属金具に差込み、ドライバーで付属部品を回します。(時計回り)ビスが外れないことを確認してください。
3. 反対側も2の要領で繰り返します。



使用上の注意と日頃のメンテナンス

1. 日頃のメンテナンスは、乾いた雑巾でカラ拭きしてください。特に汚れのひどい場合は、中性洗剤を水で薄め固く絞った雑巾で拭いてください。
2. 床材を傷つけないように保護シートを使用してください。
3. ボックス内に物を入れたまま引きずらないでください。
4. 商品は、必ず持ち上げて移動してください。
5. ボックスのふたは、両手で行ってください。
6. ボックスや枠を複数使用する場合、連結して使用してください。
7. 木部は天然木を使用しています。多少の色違いや木目の違いがあります。ご了承ください。
8. 畳は変色します。
9. 保護シートが取れたり、機能を果たさない場合は、直ちに交換してください。